

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第6回理事会

平成8年4月

第6回理事会議事録

財団法人女性のためのアジア平和国民基金

1、出席者

- ▼理事会 原理事長、有馬副理事長、榎本理事、金田理事、
金平理事、下村理事、堀田理事、山口理事
- ▼オブザーバー 宮崎勇氏
内閣官房外政審議室／東審議官、松井審議官
外務省アジア地域政策課／水谷課長、篠原地域調整官
- ▼事務局 安齋総務部長、多賀業務第一部長、原田事務局員、岡事務局員

2、開催日時・場所

平成8年4月17日(水) 9:30~11:30
基金事務局

3、議事録署名人

理事長 原文兵衛
理事 金平輝
理事 下村満子



4、議事次第

※テレビ朝日より理事会の会合の風景を撮影させてほしいとの申し入れがあった。
今後基金関連の報道を行う際に、映像として使用したいとのこと。理事会で協議した結果、正確な報道を行うということを条件に撮影を許可することとなり、数分間撮影された。

■報告および審議事項

▼国連人権委員会について(資料添付)

- ・クマラスワミ報告に関わる第9議題について、現地時間11日より集中審議の様子が伝えられた。

▼一時金支給について

- ・この議題についての運営審議会での発言要旨(添付)が伝えられ、金額、支給開始時期、「償い事業」としての医療・福祉プロジェクトとの兼ね合い等について議論された。継続審議となった。

▼お詫びの手紙について

- ・韓国内で瀕死の状態にある被害者に対し、基金から何らかのお見舞いとお詫びの手紙を届けることはできないか、との意見が運営審議会上出されたことが伝えられた。継続審議となった。
- ・日本政府からのお詫びの書面については、基金が表現、エレメント等を提案として伝えることとなった。内容については継続審議となった。

▼次回会合日程について

- ・平成8年4月26日(金) 18:00~ 理事懇談会を開催する。
基金事務局にて。

以上